

“BIOTRONIK International Fellows Program 2021”参加レポート

プログラムでは、2021年9月より合計12回のオンラインセミナーに参加し、不整脈や心不全診療の概論に始まり、アブレーション治療・デバイス治療の基礎から発展的な内容・知見について学びました。各国の著名なエキスパートからのレクチャーを、日常臨床での疑問や問題点を投げかけながら盛んにディスカッションを行う形式で執り行いました。オンラインではあるものの非常に Interactive で、世界中の不整脈フェローとも交流する中でレクチャーの内容、そしてその経験自体が非常に刺激的で臨床への意欲を掻き立てられるものでした。2022年6月22日から27日の日程で現地参加してきたベルリンでのシーズンファイナルでは、ディレクターの Jan Steffel 先生や Thomas Deneke 先生の指導のもと、各国フェローとともに昼夜に渡ってハンズオンをはじめとするレクチャーや懇親交流を交えて、各々の経験や考えをディスカッションの中でやり取りする、熱いセッションを経験いたしました。

私は現在の国内施設にて不整脈部門に所属し、臨床、研究、教育業務に携わっておりますが、日本国内では触れ合う機会がなかなかない、海外の臨床家やエキスパートたちの意気軒昂な、活力にあふれるパッションを経験し、今後の臨床医・研究医としての資質やキャリアにより磨きをかけていきたいという強い気持ちを抱きました。今回経験させて頂いた貴重な体験を糧に今後海外活動・留学も視野に、より一層診療や勉学に励んでいきたいと考えております。

慶應義塾大学病院循環器内科

三山 寛司